

## はじめに

本報告書は、2003年から2005年の3カ年にわたり茨城県北西部を調査区域とした、動物、植物、地学などの観点から茨城県の自然の現状を明らかにするため実施された調査研究のまとめです。

今回のこの第4次総合調査をもって、平成6年度を初年とする3カ年の区切りで実施されてきた12年間にわたる第一期総合調査が終了することとなりました。

これまでの調査の中でも、県内の自然に関する新しい多くの情報と調査に伴う資料の収集並びに県内の自然研究団体などとの人的ネットワークの構築など多くの成果を挙げてまいりましたが、第4次調査においても動物、植物、地学の各分野において、本報告書にある通り新たな知見と収蔵資料の充実を図ることができました。

総合調査については、平成16年度に策定された当館の進化基本計画において、激しい環境の変化に対応するため、その一層の推進が求められており、引き続き平成18年度から第二期の総合調査が開始されたところです。

第一期総合調査の終了と第二期総合調査の新たなスタートにあたり、これまでご協力いただいた民間団体の方々、研究者、専門家の皆様に心より感謝を申し上げますと共に、今後も引き続きご協力をお願いを申し上げます次第です。

本報告を含めた第一期の総合調査の成果につきましては、広く県民の皆様をはじめ多くの方々に「茨城の自然」をご理解いただくため、企画展をはじめ多くの機会を利用しその情報の発信につとめてまいります。

この報告書が多くの皆様にご活用されるようお願い申し上げます。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
館長 菅谷 博